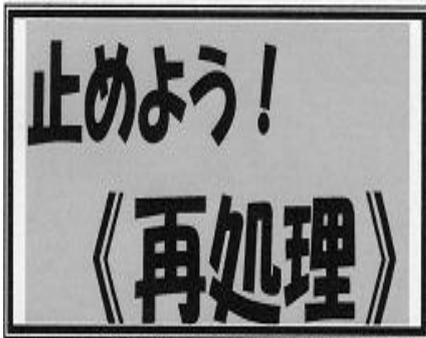


**三陸の海を放射能から守る  
岩手の会**

郵便振替 02240-5-102650  
ホームページ 《再処理／岩手の環境》  
<http://homepage3.nifty.com/gatayann/env.htm>  
《まった再処理分庫》  
[http://briefcase.yahoo.co.jp/k\\_imag](http://briefcase.yahoo.co.jp/k_imag)



**《天恵の海》**

2014(平成26)年  
1月 2日  
第135号  
編集事務局 S.Oshida  
TEL・FAX 019-623-1636



**使用済み核燃料**

**新年**

**《発生ゼロ・164日目》で迎える**

**被ばくする前に、原発を完全に止めよう!**

東京では十月十三日約四万人、十二月二日約一万五千人が原発ゼロを要求し、市民集会とデモを行いました。原発の危険な実態が隠される『秘密保護法案』反対デモにも多くの人々が参加しました。岩手の「金曜デモ」からも参加し「原発なくせ!ひばくは嫌だ!」と大声で叫びました。



十二・二二 国会前



十二・二二日比谷野外音楽堂

**百万kW原発一基を動かせば  
一日で広島原爆3発分の  
核分裂生成物が発生**

「一六四日目」で二〇一四年の新年へ  
一昨年の五月のこの日、日本の原発は全て停止し『原発稼働ゼロ』が始まりました。大飯原発の稼働がありました。昨年九月一五日からまた『稼働ゼロ』が復活しました。全国で粘り強く開催されている市民のデモが大きな力を発揮しています。原発が動かなければ、新たな放射能が発生しません。既に日本の国土に約一万七〇〇〇トンも溜まった使用済み核燃料を増やしてはなりません。増やさねば放射能が減り始め、崩壊熱も下がり始めます。原発ゼロこそ、安全への第一歩です。

**原発ゼロは安全への一里塚**



**NO NUKES えひめ!**  
12・1 松山集会 (約8000人)  
写真は 小坂正則さんのブログから

最初の再稼働原発として伊方原発が狙われています。稼働を許さないために、愛媛県松山市に四国や中国地方などから約八〇〇〇人が結集し集会とデモが行われました。中央構造線の近く、偏西風帯の西側、もし伊方原発で事故が起これば、瀬戸内海はじめ中国、四国、近畿地方など、西日本は壊滅的被害を受けます。伊方原発再稼働阻止は日本人全体の課題です。

玄海原発、川内原発の再稼働阻止を訴え一万人以上の人々が結集。「命と原発は一緒に栄えることは出来ない」と叫んで、雨の中舞鶴公園集会と市内デモを行いました。



写真は 小坂正則さんのブログから

サヨナラ原発  
九州・沖縄 福岡集会  
十一・一〇 一万人以上

# 茨城県・東海再処理工場に フル2杯分の 高レベル放射性廃液

国会前で「君手の会」が訴えた

万が一！漏れたら首都圏は大惨事



十二月二日の東京・国会前市民集会で、「君手の会」からもスピーチをさせていただきました。三分間の持ち時間でしたが、

「六ヶ所再処理工場が三陸の海を放射能で汚すことに反対し漁業者や住民が立ち上がっている。全国原発が稼動すれば当然発生する使用済み核燃料という危険物が六ヶ所工場に集中し、青森・岩手は核のゴミの捨て場となり放射能汚染がますます増大する。私たちは絶対に、原発の稼動に反対である」と訴えました。

再処理工場で

放射能は減らない

国会前スピーチで私たちは、六ヶ所再処理工場に二〇二立方メートルの高レベル放射性廃液が溜まっていることを訴えました。

再処理工場は、使用済み核燃料を化学的に処理してプルトニウムとウランを回収する工場で、あとに残る危険な廃液が高レベル放射性廃液です。人がそばに寄れば「約二〇秒で即死」、「冷却を失えば沸騰」し、「水素が発生し爆発の危険」があるなど恐ろしい危険物です。JAEA、高レベル廃液

の危険性認める

その恐ろしい廃液が何と首都圏の茨城県東海再処理工場にも「約四三〇

立方分」溜まっているのです。

当会と茨城の市民グループが、二〇一一年暮れと二〇一二年六月に日本原子力研究開発機構（JAEA）東海再処理工場の事業主体に公開質問状を持参し交渉を行い「絶対の安全管理」を訴え、さらに東海村村長にも対策を要請しました。

JAEAは昨年七月の原子力規制庁のヒアリングで高レベル放射性廃液とプルトニウム溶液の危険性を認め、意見書を提出しました。「可能な限り早急にこれらの溶液を固化し、安定化を図ること、施設の潜在的ハザードを低減し施設の安全を高めたい（報告書の二一頁）としており、国とJA

水メカネ  
砂場からセシウム

E Aへ早急な実施を求めなければなりません。

「朝日新聞」記事 十二月二日号  
十二月三日の朝日新聞は「高レベル廃液、爆発の恐れ 東海村 四三〇立方分処理されず」という見出しで、原子力規制庁報告書について報じました。

放射性廃液とプルトニウム溶液三・一立方メートルが溜まっている。高レベル廃液はガラス固化、プルトニウム液はMOX粉末にする予定のものであるが処理装置が止まったままになっている。高レベル放射性廃液は冷却が止まると五五時間で沸騰、また掃気が止まると三八時間で水素爆発

の濃度に達する。プルトニウム溶液は二三時間で沸騰、十一時間で水素爆発する、としています。報告書では高レベル廃液の放射能濃度についても記述しています。八月五日現在、高レベル放射性廃液が七基の貯槽に四三〇立方分貯蔵されている。その放射能濃度総量は四二〇京ベクレル。その内五基の廃液四〇六立方分の放射能総量

## 『新エネルギー基本計画素案』

パブリックコメントへ意見を出そう！

巨額損害、悲惨な結果にも関わらず、《原子力は重要なベース電源》《原発再稼働》《使用済み核燃料の処分・核燃サイクル推進》という『新エネルギー基本計画素案』へ、意見を集中させよう。

期間 13年12月～14年1月6日まで

宛先 資源エネルギー庁 パブコメ担当課

<http://p.tl/-Bh8> FAX 03-3501-2305

同134は十一ベクレル/kgと出た。合わせて三九ベクレル。食べ物だったら危険な水準である。砂場が別に空間線量が高くホットスポットだったわけではない。しかし、砂場の砂には放射性セシウムがあったのである。この砂場の砂は入れ替えるか、水で洗うかする必要がある。環境大臣の地元。子供の遊び場について無神経では困る。(尚)

http://www.nsr.go.jp/c  
ommittee/yuushikisyva/j  
aea\_hearing